

富士と湖の自然をみつめて

自然再生研究会の活動 ビオトープのモニタリング とアシ刈り

2ヶ月ごとに行っている河口湖畔ビオトープ（美術館と大池公園）のモニタリング調査の6回目が、2月20日に行われました。調査を開始した時には雪も降り始め、終わる頃には数cm積もる状況でしたが、東京農工大学・静岡大学・日本獣医畜産大学・東邦大学の学生5名が参加して熱心に行ってくれました。



大池公園ビオトープでは、水路側で2種のゲンゴロウの仲間などが見つかりましたが、池の方からは水生昆虫が少し見られただけでした。美術館ビオトープでは、ヒメゲンゴロウやマメゲンゴロウがかなりみられ、カゲロウやトビケラの幼虫も数種類確認されました。最も寒い時期なので全体の個体数は少なくなりましたが、カワニナやサカマキガイも含め定着していることが確認できました。

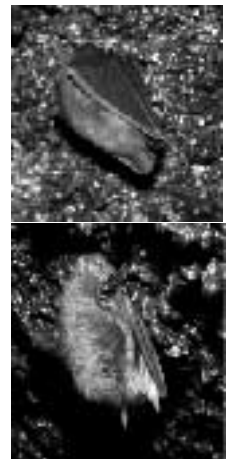
近年全国的に里山の草原性生物が絶滅危惧に陥っている主原因は、人によって手入れされなくなったからと考えられています。そこで今年もビオトープの草原的環境を維持しようと、伸びすぎたアシの刈り取りが2日に自然再生研究会の学生の協力を得て行われました。美術館ビオトープでは、昨年アシを全部刈った東半分のススキや低木を更に刈り取り、昨年水路部分以外残した西半分のアシはそのまま残しました（前に報告したカヤネズミが巣をつくれるように）。大池公園ビオトープでは水路側のアシを全て刈り、池の方は昨年全部刈ったので今年は4分の一程度刈って、刈り込みの影響を調べることにしました。

今年の4月からは、東京農工大学大学院博士課程の角田裕志君がビオトープの保護と自然湿地の保全について本格的に調査研究してくれることになりましたので、自然再生研究会の活動とあわせて、環境の変化をモニタリングしながら、ゲンジボタルのすめるような最良のビオトープを目指して活動して行きたいと思っております。これからも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

西湖コウモリ穴のコウモリ越冬調査 ウサギコウモリが見つかりました

西湖コウモリ穴で冬眠しているコウモリの種とその生態を定期的に調査する目的で、12月から月1・2回実施している越冬調査ですが、12月の様子は1月号でお知らせしましたので、今回は1月の26日と2月の22日（一部10日）に中川雄三氏、三浦吉彦氏と渡辺とで行った調査結果を報告します。

1月24日には1頭のキクガシラコウモリとこの冬初めての1頭のコキクガシラコウモリが確認されました。（写真右上）12月には保護区域だけで確認されたものが、10頭のキクガシラコウモリ以外は、より入口に近い溶岩ドーム付近で見つかりました。2月10日には山梨県環境科学研究所のモニタリング調査でキクガシラコウモリとは違うコウモリがいたとの知らせを受け、中川氏と渡辺とで確認した結果初めてウサギコウモリ（絶滅危惧 類）が1頭見つかり、水を飲む様子が記録されました。22日の定期全域調査では、保護区内でウサギコウモリが2頭とキクガシラコウモリが5頭確認され、溶岩ドーム付近でキクガシラコウモリが15頭見つかり、（写真右下）個体数と生息地域がともに増えていることがわかりました。個体のいた位置や睡眠の深さも個体によって変わっていますので、冬眠といってもずっと動かないのではなく、時々活動しているのではと考えられます。3月には、西湖コウモリ穴の営業開始前と後に調査を行う予定です。



ショート・ニュース

- ・アースウォッチジャパン（本部アメリカ）の協力による絶滅危惧種ミヤマシジミの保護のための調査も3年を経過し、日本初の国際プロジェクトにしたいという意向を受け、昨年末アメリカの本部にその申請を行いました。その結果一次審査が通り、5月までに本審査の申請をすることになりました。これが通れば、2007年6～9月に海外からのボランティアも参加して調査が行われることとなります。
- ・ニホンリス日本最高標高の生息地五合目での調査も、富士河口湖富士線有料道路管理事務所のご協力を得て1月末に4目から徒歩にて調査を行い、真冬でも奥庭付近で生活していることがわかりました。
- ・ミヤマシジミの越冬卵調査を2月にも実施し、徐々に成果が挙がりつつあります。3月25・26日にはアースウォッチジャパンの国内プロジェクトとしてボランティアの協力を得て実施予定です。

ご意見・ご質問は、TEL(FAX) 0555- 20- 3510 河口湖フィールドセンター 自然共生研究室まで



河口湖円形ホールコンサート情報

河口湖円形ホールレイクサイドピアノコンサート2006春

クレッグ・アークハート ピアノ・ソロ・ライブ

～自然との対話～
ダイアローグ

マエストロ バーンスタインの音楽活動の片腕!
ニューヨーク在住のコンポーザー・ピアニスト、クレッグ・アークハート。
自然を彷彿とさせる“癒しのピアノ”が、富士山の麓河口湖のほとりで
優しく響きわたる…



指揮者佐渡裕氏も「懐かしくて温かい思い出を引き出してくれる、そんなピアノ音楽」と絶賛しています。

日時 2006年4月8日(土) 午後4時30分開場 / 午後5時開演

料金 全席自由 3,000円 *未就学児の入場はご遠慮願います。

* コンサートにお越しのお客様に便利なシャトルバスの運行がございます。ぜひ、ご利用下さい。(片道200円)

《行き》 午後4時15分 河口湖駅発

《帰り》 コンサート終演後出発予定。河口湖駅行き。

関連情報

河口湖美術館ラウンジコンサート2006

クレッグ・アークハート ピアノソロミニライブ

2006年4月7日(金)午後2時開演(午後2時30分終演予定)

会場:河口湖美術館 料金:観覧無料(但し、美術館の入館料は別途必要になります。)

第43回

カローザ室内楽コンサート

桐朋学園大学音楽学部 岩崎淑室内楽クラスを卒業し、
各地で活躍する演奏家が富士山麓に一堂に会し、
コンサートを開催します。

日時 2006年4月1日(土)

午後2時30分開場 / 午後3時開演

料金 全席自由 大人1,000円 / 中学生以下500円

曲目 モーツァルト / 2台のピアノのためのフーガ 八短調

ベートーヴェン / ヴァイオリンソナタ第9番 イ長調

作品47《クロイツェル》 ほか

主催 カローザ (03-3466-3017)

第3回

こと 尺八による邦楽の集い!

糸と竹の織りなす和音

琴・尺八を身近で気軽に楽しめる演奏会を開催します。

日時 2006年4月23日(日)

午後1時30分開場 / 午後2時開演

料金 無料

主催 邦楽ういんど (042-792-0034)

上記公演のチケットに関する
お問い合わせ



河口湖ステラシアター

TEL 0555-72-5588
休館日 火曜日、祝日の翌日

女と男の情報コーナー



女性交流センター(仮称) 運営について研修

誰もがすみよい町づくりの拠点

「男女共同参画社会」の構築に向けて町では平成17・18年度の2ヶ年で「町男女共同参画計画」の策定をすすめているところだ。

また、男女共同参画で誰もがすみよい町づくりをすすめていく活動拠点として中央公民館のなかに女性交流センター(以下センターという)が平成18年度にオープンします。センターの設置については平成16年度に計画され、同時に運営委員を公募し15名のメンバーでその目的、運営方法について研究してきました。

運営委員会では、センターを誰もがすみよい町づくりのための核として、情報収集・発信、交流広場(ネット

トワーク作り・学習の場)、相談室などの機能を持つ施設として活用していきたいとその運営、活用方法について研究をすすめてきました。



「エコ」工房ひだまり代表
山本たみ子さん

センターを誰もが利用しやすい、集いやすい場所とするための運営方法として、「住民参画による運営」が必要と考え、2月24日に運営委員と女性団体の代表者により先進地の視察研修を行いました。研修先では、運営組織や活動について多くのことを学び、

たくさんの方のヒントを得てきました。ここで研修参加者の感想を紹介します。

エコ工房 ひだまり(埼玉県川口市)
民間の公民館的施設で、地域の方々のコミュニケーションの場、「生きがいづくりの場」、社会貢献の場「づくりをしています。」

NPO法人みんなのまち草の根ネットの会(草加市)

男女共生、地域づくり、子育て等々のテーマ別ネットワークで行政と協働です。すみよい町づくりのための活動をしています。

今回の2ヶ所の視察から、待望の女性交流センターを、すみよいまちづくりのためのコミュニティの場所にしていきたいと、夢が膨らみました。性別や年齢を越えて、だれでも気軽に立ち寄り、情報・経験、熱意を伝えあう場所、「女性交流センター」開所を心から喜び、一日も早い開所を待ち望んでいます。

【渡辺節子】

「ひだまり」の店内は全て会員の手作り品、小物からリフォーム服、壁の絵画、木工品が展示され、温かな雰囲気の中で、代表の山田さんのお話を伺った。

発足当初の人集め、フリーマーケットやボランティアの仲間づくりのことや

「ひだまり通信」で地域に呼びかけ、個人の生きがい探しのためのカルチャーやサークル活動の応援などのいきいきとした体験談を聞いた。コミュニケーション、生きがいづくり、社会貢献の場づくりに「ひだまり通信」は大きな柱となっている。山田さんの知恵と情熱、そのパワーに心酔した研修だった。

【中村今代】

このたびは、わが町の交流センターの機能、運営について学ぶために先進地視察に参加する機会を得て幸せでした。



「NPO法人草の根ネットの会」
宮本会長のお話を聞く

訪れた草加市「NPO法人草の根ネットの会」は、設立10年目をむかえる市民活動団体で、さまざまな団体と連携してそのエネルギーをつなげ、市民と行政のパートナーシップを推進するリーダー的役割を果たしています。会運営の構図が明確に示され、調査・普及・啓発の過程が着実であることに会員の質の高さを感じました。また、このような活動団体には情熱と実力を備えたリーダーの存在が不可欠であることも実感しました。

このたびの研修から、私のセンター運営に対する意識が変わりました。かつては女性のエンパワーメントのみ中心に考えていましたが、新たに設置されるセンターは性別、年齢、障害などの壁を取り払い住民みんなの施設として捉えて、その機能や運営を進めていくべきではないかと。とにかく多様な人びとが多様なふれあいを深めてつながっていく場でありたい。そんな夢を今は描いてあります。

【望月幸子】

女性交流センターの問い合わせは、

生涯学習課男女共生・国際係

72・6053

リレーごむ

女性プランからの声掛けで、介護体験発表の機会をいただいたのは、ははが旅立った翌年、平成十年でした。この発表の機会を得たことが、男女共同参画への出発点となりました。あれから八年。

ちちの介護の日が続きます。ははの時と大きく異なる点は、夫が介護を半分担ってくれている現状です。同じ病棟の付き添いさんが夫から、「妻は男女共同参画推進委員をしている。当然、自分も介護を担うさ」と言っていると言われた時、男女共同参画は私の足元にあったんだ、委員長になった時の挨拶文に、「男女共同参画はまず内から、夫から」が、今現実になり、ちち、ははに感謝の毎日です。関係機関、推進委員の方々、多くの地域の皆様のご支援をいただきましたが、男女共同参画推進委員によるリレーコラムを一旦閉じる事とします。ありがとうございました。

最後にちちが病窓より景色を詠んだ句を紹介します。

松風に 春の訪れ 佛なごむ 快言

町男女共同参画推進委員 高橋佐知代



「富士河口湖ふるさとガイドの会」に入りませんか！

当会は平成16年4月に発足し、現在20数名の会員で、ガイド活動を行っています。



町内で開催されるイベントへの参加や各種勉強会も実施しています。

当地域に観光ボランティアガイド活動の輪が広がっていくよう、全員が「いきいき」と活動しています。

町の文化財・史跡などの歴史や自然に興味があり、ガイド活動にご参加いただける方を募集しています。

ぜひご入会いただけますようご案内いたします。

富士河口湖ふるさとガイドの会

会長 中村章彦

お申込み・詳しいお問い合わせは

富士河口湖町役場内

富士河口湖町観光連盟

72 3 1 6 8

富士吉田警察署から、交通事故防止について

今年に入り、山梨県内での発生交通死亡事故7件のうち4件が富士吉田警察署管内で発生しています。

なかでも、高齢者による横断中の事故が目立ちますが、高齢者に限らず、道路を横断する時は、

- 必ず横断歩道を渡るようにしましょう。
- 横断する際は、確実に左右の安全を確認しましょう
- 車の影から等、見通しの悪いところからの横断はやめましょう
- 夜間は、必ず明るい服装や反射材を着用しましょう
- 一人一人が交通事故にあわないよう注意しましょう!



富士河口湖古の小径

語り伝えたい町の民話・伝説

「十二ヶ岳の雨乞い」

今年の冬は、極寒、厳寒ということばで表されたように厳しいものでしたが、春を目前にしてようやく陽の光もなんとなく温かく、富士北麓も冬の厳しさから解き放たれようとしています。

雪の少なかつた冬ですが、先日春を前に雪が降りました。雪の日の翌朝晴れ渡った青空に真っ白な山の尾根がくっきりと美しく目を見張るばかりでした。

遠い昔古の小径を辿った人々もあの山々の凜とした美しさに感動したことでしょう。先人たちは南に富士山、北に御坂の山々、そして湖という豊かな自然の中でいくつもの伝説や民話を語り伝えてきました。

北側の山々の峰の中でひとときわ険しくそびえる山「十二ヶ岳」を見ながら、この山に伝わるお話を紹介し、古の人々の暮らしに思いを馳せたいと思います。

「十二ヶ岳の雨乞い」

河口湖畔大石の桑崎から、西方へ山こぶを数えて十二目、ひとしお高く険しい岩嶺を十二ヶ岳という。この頂へ修験道の開祖役ノ行者が大和の葛城山から雲に乗って来て、頂へ行堂を建て大行に入ったが、行者のあとを慕



大型紙芝居「かちかち山」

う修験者たちが麓にうごめていた。行者は頂上岩頭に立って、「あいやもの共、わが修験のみちに入りたくば、わが足もとへ来たれッ」と大喝した。山ぎわにいた多くの道者たちは、先を競って崖壁をよじ登るのであったが、切り立った岩壁にある者は傷つき倒れ、ある者は滑り墜ち果て、一人として行者に近づくとはいけなかつた。この削り立った岩壁を行者帰りと呼んでいる。

行者はこの地を好み、足和田山続きの雨乞山に住み、富士山へ登り、三ツ峠にも行場をもっていた。その後、十二ヶ岳山頂行堂前には誰が奉納したともなく沢山の鉄剣が供えられたが、この剣は雨乞山に住んだ役ノ役者が、乾天の天を突いて慈雨を呼ぶしだとして大石部落で干魃で農民が困ると、村中総出で太鼓を叩き雨乞い唄を唄いながら十二ヶ岳のお行堂詣をする。

その唄に

十二ヶ岳の御行堂 何ぜ雨よ降らかさねえ
天に雨やてえとかー
かーるびまありやどうするどう 長浜の東光
寺の坊主

南瓜のつるが枯れたーとて 鍋とってほきや
ーとー。

十二ヶ岳の御行堂 竜こんどーは留守どーか
天に水は絶えとつかー
背戸の菜っ葉もかあらから 茄子も南瓜もす
うでえどう

天に水絶えとつか さあ降れ竜こんどー。
十二ヶ岳の御行堂 何で雨よ降らかさねえ
天に雨はにやあどーか
茄子も南瓜もつたえとつ おかたやのけえ
をどうするど

十二ヶ岳の御行堂 天にや雨はたえとつか
川島の嘉重ん畑をどうするどつ
鍋へ蜘蛛ん巣を作らあ かーるびまで降って
きた これで命がつながるとつ。

という悲痛な歌を唄い頂に至り、行堂前の鉄剣を一本借りて山を下り、河口湖中へ沈めると、肅然と湖畔が恵みの雨あしに潤おうのであった。(大石)「河口湖周辺の伝説と民俗」
伊藤堅吉著

以上「十二ヶ岳の雨乞い」を紹介しましたが、自然豊かなし北麓の気候の中での決して豊かな暮らしぶりではなかつたこの地域にはその昔みの中から多くの伝説や民話が生まれてきました。これらも大切な文化財として残していきたいものです。

今回のお話は、河口湖周辺の伝説と民俗から紹介しましたが、より親しみやすく大型紙芝居として制作されている民話もあります。紙芝居は、ボランティア「芽吹きの手」によって「かっぱ膏」、「るすが岩」、「かちかち山」などが制作され町立図書館で貸し出しもしています。また、「芽吹きの手」ではいろいろな場所で地域の民話を語り伝える活動もしています。本年7月に新しい町立図書館がオープンしますが、町の民話や伝説にも興味を持って訪れて欲しいと思います。



大型紙芝居「かっぱ膏」

富士北麓公園 春期スポーツ教室

教室名	時間	曜日	春期	参加料	定員	会場	内容
初心者テニス (火曜日コース)	19:00～ 20:30	火	4月18日 ～7月4日	5,000 円/期	20人	体育館メインアリーナ全面	初心者を対象としたコースです。ラケットを握った事がない人も楽しみながら、基本からゲームまで学べます。
初心者テニス (水曜日コース)	19:00～ 20:30	水	4月19日 ～7月5日	5,000 円/期	20人	体育館メインアリーナ全面	初心者を対象としたコースです。ラケットを握った事がない人も楽しみながら、基本からゲームまで学べます。
マスターズ	14:00～ 15:30	水	4月19日 ～7月12日	3,000 円/期	20人	球技場他	元気で健康的な毎日が送れるよう年齢や体力に応じた、楽しい内容で軽スポーツを実施します。
エアロビクス (木曜日コース)	10:00～ 11:30	木	4月20日 ～7月6日	3,500 円/期	40人	体育館サブアリーナ	音楽に合わせてリズムカルに体を動かす有酸素運動を行い、心地よい汗を流しシェイプアップ効果も期待できます。
初心者 バドミントン	19:00～ 20:30	木	4月20日 ～7月6日	5,000 円/期	20人	体育館メインアリーナ半面	経験の有無にかかわらず、基本技術からゲームまでレベルに応じて楽しく練習できます。
フレンドリー テニス	10:00～ 11:30	金	4月14日 ～7月14日	5,000 円/期	10人	体育館メインアリーナ全面	開催日には誰もが気軽に参加でき、当日の参加者同士で楽しくゲームを行います。
エアロビクス (金曜日コース)	19:00～ 20:30	金	4月21日 ～7月7日	3,500 円/期	40人	体育館サブアリーナ	音楽に合わせてリズムカルに体を動かす有酸素運動を行い、心地よい汗を流しシェイプアップ効果も期待できます。

【申し込み・問い合わせ】

- 1 受付期間 ～3月17日 定員になり次第、締め切ります。
- 2 受付時間 9:00～17:00
- 3 受付方法 電話に限ります。 「一人で複数人の申し込みはできません。」
- 4 対象 一般男女「18歳以上、ただし高校生は不可」
- 5 必要事項 氏名、年齢、性別、住所、電話番号他
- 6 問い合わせ (財)山梨県体育協会 富士北麓公園管理事務所
富士吉田市上吉田立石5000番 24-3651



平成18年度自衛官募集案内

募集種目	資格	区分	願書受付期間	第1次試験	概要
幹部候補生	一般・技術 20歳以上26歳未満の者 (22歳未満の者は大卒 (見込含))		H18年4月上旬 ～5月上旬	H18年5月下旬	入隊後約1年で 3等陸海空尉 大学院修士学位取得者 は2等陸海空尉
	歯科・薬剤 専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満(薬剤は 26歳未満の者(薬学修士学 位取得者は28歳未満))	免許取得後 歯科は2等陸海空尉 薬剤科は入隊後約1年 で3等陸海空尉			

URL <http://www.yamanashi.plo.jda.go.jp> E-mail hp1@yamanashi.plo.jda.go.jp

応募希望者は下記までお問合せください。

自衛隊山梨地方連絡部 大月募集事務所

大月市御太刀2-8-10

電話:0554-22-1298